

住まいを涼しく(暖かく)快適に

本時のねらい

夏や冬など気温の変動が大きい季節において、快適に生活する方法を理解することができるようにする。
資源を無駄遣いせず、環境に優しい住まい方について何ができるか考えることができる。

使用する図解

図解30 ①電力会社からの節電要請 ②節電の呼びかけ文

指導過程

時間	児童・生徒の活動	教師の支援
7分 (7分)	<p>1 本時の課題をとらえる。</p> <p>(1) 夏や冬の暮らし方を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エアコンやヒーターを使う ・夏は薄手の半袖で冬は厚手の長袖 	<ul style="list-style-type: none"> ● 夏や冬に衣食住で、どのような対策を行っているのか振り返り、学習の見直しをもたせる。
25分 (32分)	<p>(2) 本時の課題について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>夏や冬を快適に過ごすために、どのようにすればよいか考えよう</p> </div> <p>2 工夫できることを考える。</p> <p>(1) 衣食住でどのような工夫ができそうかグループで考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣：風通しのよい服にする(夏) 風を通しにくい服にする(冬) ・食：かき氷やそうめん(夏) 鍋物やとろみのあるもの(冬) ・住：エアコンと扇風機を使う(夏冬) 庭に水を撒く(夏) <p>(2) 快適な過ごし方について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚や聴覚からも対策をする ・風の通り方を踏まえる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 図解30—①,②を見せ、この季節の電気の使用量の増加を踏まえ、快適に過ごすためにどのような工夫ができるか考えることを知らせる。 ● グループで、衣食住における暑さ(寒さ)対策を考えさせる。 ● エコに気を配りながら、快適に過ごす方法について考えるように指示をする。 ● 考えたことについては、グループごとにまとめて発表をさせる。 ● 対策が一時的なものか、継続的なものかで分けて板書する。 ● 教科書や資料を使って、どのような対策があるか調べさせる。 ● 気付かなかった項目を記述させる。

時間	児童・生徒の活動	教師の支援
<p>8分 (40分)</p> <p>5分 (45分)</p>	<p>(3) 空調機器の効果的な使い方を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 掃除をこまめにする • 設定温度を上げ、扇風機を併用する • 断熱シートを敷く • カーテンを活用する <p>3 本時の課題について考える。</p> <p>(1) 自分の家で、どのような対策ができそうかについてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 扇風機を置く場所を考えて風が流れるようにする • 外に出る時は日傘や帽子を使う • 食事に季節の野菜を取り入れる <p>(2) 今日の学習で学んだことについて振り返り、ワークシートにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 熱中症等の事故から、生命を維持するためにも空調機器を上手に活用する必要があることを踏まえ、効果的に使う方法を資料から調べる。 ● 節電節約になることも知らせる。 ● これまで出された対策を見ながら自分の家で取り組んでいることがあるか、チェックする。 ● チェックしたことを参考にしながら、実際に取り組めそうなことを箇条書きで記述させる。 ● ペア同士で意見交換をさせる。 ● 本時の課題を踏まえ、快適な暮らし方について振り返る時間とする。